

311

もう過去には戻れない。
だから、前を向いて
今を、生きていく。

ここに生きる

特別上映会

(スペイン語字幕つき)

—VIVIR EL MOMENTO—

ドキュメンタリー映画

監督: 我謝京子



CINEMES GIRONA

2013年 9月 14日 (土) 18時

<http://311moment.jp/en/>



2013 2014
AÑO DUAL ESPAÑA-JAPÓN
日本スペイン交流400周年
400 AÑOS DE RELACIONES

震災を風化させてはいけない。

その為に自分は何ができるのか、一人一人が、今、考える時。

復興への思いを記録し続けていきたい。

1995年、阪神淡路大震災後6か月目に会った長田区に住む7歳のゆみちゃんは、自分の町が火事で燃えてたくさんのお年寄りが亡くなったことを話してくれた。それから私は、彼女の成長を見守り続け、老人介護の仕事につく決心を聞いた時、心から祝福した。24歳の今、彼女は、立派な老人介護のプロだ。2001年、NYの同時多発テロ事件で被災した当時8歳だった我が娘は、今年18歳の大学生になった。ビル崩壊を目の当たりにした彼女は、建築物を次世代へと保存する仕事をを目指したいと話す。そして2011年、私は、東日本大震災の被災地で女性たちの復興への思いを聞いて回った。彼女たちの復興は、始まったばかりだった。しかし、それは力強い始まりだった。今回の映画は、彼女たちの復興への第一章だ。震災を風化させてはいけない。私にできることを考えた。これから10年に渡って、私は、彼女たちの復興の歩みを記録して行こうと思う。



監督作品

「母の道、娘の選択」(2009)

「311: ここに生きる」(2011)

我謝京子 1963年東京生まれ。上智大学外国語学部卒業後、TV東京の報道記者として経済番組やドキュメンタリーを製作。 ベルー日本大使公邸人質事件や阪神大震災の復興取材等多数。2001年に母娘単身赴任で渡米。

ロイター社のTVレポーター&プロデューサーとして活躍。 2009年に監督として初のドキュメンタリー映画「母の道、娘の選択」を完成。第22回東京国際女性映画祭での上映、2010年NY国際インディペンデント映画祭観客賞、最優秀文化ドキュメンタリー賞をダブルで受賞。2011年10月、東日本大震災で被災した女性たちのドキュメンタリー映画「311:ここに生きる」を完成。第24回東京国際女性映画祭でのワールドプレミア受賞。その後も取材を続け、2012年3月に第二弾を完成。既に日本各地、台湾、韓国、インド、カナダ、イタリア、フランス、アメリカ各地で上映会開催。「被災地に生きる女性たちの心に迫ったドキュメンタリー作品」として高い評価を得ている。

題名

311: ここに生きる -VIVIR EL MOMENTO-
(スペイン語字幕つき)

日時

9月14日(土)

開場: 17:30

開演: 18:00 - 20:00 (監督のご挨拶・上映・質疑応答)

会場

CINEMES GIRONA (Girona 157, entre Rosselló y Còrsega)

📍 L4 y L5 Verdaguer, L3 Diagonal

📺 6, 33, 43, 47, 15, 34, 44, 55, 20, 39 y 45

入場料

5 € (当日会場にて現金でお支払ください)